

浜口陽三  
・  
池内晶子  
・  
福田尚代  
・  
三宅砂織



# 秘密の湖

The Secret Lake



2013 夏の企画展

5月18日(土) - 8月11日(日)



# 秘密の湖

2013 夏の企画展

浜口陽三 | 池内晶子 | 福田尚代 | 三宅砂織

近づくと、息づいているような静物画のうす闇。

浜口陽三(1909~2000)の銅版画は、銅を織物のように細かく刻んで、光と闇を生み出します。

指先で触れてもたどれないほど微妙な銅の彫り加減が、作品に無限の柔らかさをもたらし、さくらんぼやレモンに永遠の時間が流れはじめます。浜口陽三は、20世紀半ば、新しい時代の芸術表現として銅版画を選びました。そして半世紀以上を経た今でも、新鮮な魅力をたたえています。

本展覧会では、詩人で美術にも造詣の深い、高橋睦郎氏を顧問としてお迎えし、繊細な美術作品ばかりを現代の芸術家たち3人と浜口陽三の銅版画の組み合わせで紹介いたします。

細い絹糸を用いて、ものの広がり、雰囲気、微妙な心の動きを空間に現出させる池内晶子。

今回は、そのとらえどころのないものを具現化する立体と共に、その空間を表現した版画作品を展示します。

言葉、書物、文房具を素材に、既成の文学にはない、はるかな物語を紡ぎだす福田尚代。

本との対話から生まれる間接表現や、原稿用紙を彫刻する感性には銅版画に近くて遠いところもあります。

個々の作品は、全体でひとつの妙なる世界をつくります。

カメラを用いない写真、フォトグラムによって、現実と似て非なる透明な風景を作る三宅砂織。

版画から出発した三宅氏は、さらに大きな輪郭を求め、この技法によって柔らかな包容力のある画面を作り出しています。

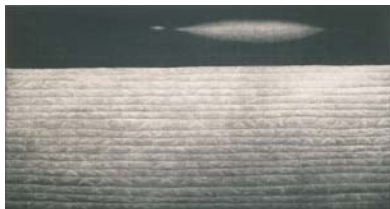
時を積み重ねた細やかな表現は、確かに心のひだをなぞり、未知の世界を生み出してゆきます。

3人の作家は、新作を中心に展示する予定です。

深い森の中を抜けて出会う湖のように、新しい気配や新しい光を感じてください。

## 高橋睦郎 TAKAHASHI Mutsuo

詩人。1937年北九州に生れる。1959年に処女詩集『ミノ・あたしの雄牛』を発表してから現在に至るまで『何処へ』など詩集28冊、『遊行』など句集7冊、『虚音集』など歌集6冊ほか著書多数。詩作のほか、短歌、俳句、新詩、新作浄瑠璃、オペラ台本、内外の古典の読み直しなどジャンルを超えて芸術活動を広げている。美術にも明るく、2001年にはDRAWING展「素描の庭・素描の食卓」(東京画廊)を開催。2010年には、川村記念美術館(千葉)にて、「ジョゼフ・コーナー×高橋睦郎 箱宇宙を講じて」を開催。



浜口陽三《雲》  
1958年 メゾチント、紙  
26.3x49.2cm



池内晶子《Green》(部分拡大)  
2005年 エッチング、雁皮刷り、1版1色、紙  
19.9x15.9cm  
photo:Edition Works



福田尚代《翼あるもの》  
2003~2007年 折りたたまれた書物  
photo:SAKATA Mineo



三宅砂織《Smoked Forest》(参考図版)  
2012年 ゼラチンシルバープリント  
49.3x34.8cm  
photo:表恒匡

## ■ 高橋睦郎氏と出品作家の座談会 | 2013年7月14日(日) 16:00~17:30

[参加費] 入館料+300円 [定員] 60名 お茶とお菓子つき  
[申込み] 5/25 11:00より電話受付 ※先着順

## ■ 出品作家によるギャラリートーク(日程順)

福田尚代×福永信(小説家) 対談「福田尚代と福永信の小さな一時間」

日時: 2013年6月1日(土) 14:00~15:00

池内晶子×木下長宏(美術史学者) 対談「時とともに巡るもの」

日時: 2013年6月22日(土) 15:00~16:00

三宅砂織×飯沢耕太郎(写真評論家) 対談「光のデッサン」

日時: 2013年7月28日(日) 15:00~16:00

[参加費] 入館料のみ [定員] 各日 60名 [申込み] 5/25 11:00より電話受付 ※先着順  
※各日、トークの後、会場で1時間ほどティーパーティを開催します。

## ■ 銅版画体験教室 | モノクロームメゾチント体験教室(初心者向け)

[日時] 2013年6月8日(土) 14:00-17:00 [講師] 江本創(アーティスト) [定員] 18名  
詳細はホームページにてご確認ください。

## 浜口陽三 HAMAGUCHI Yozo

1909年 和歌山生まれ。東京美術学校(現東京藝術大学)彫塑科に入学し、2年後に渡仏。戦後、パリで銅版画の新しい技法カラーメゾチントを開拓し、東京国際版画ビエンナーレやサンパウロビエンナーレなど国際コンクールで数々とグランプリを受賞。20世紀を代表する版画家の一人として活躍し、1981年にサンフランシスコへ移住。2000年逝去。

## 池内晶子 IKEUCHI Akiko

1967年 東京生まれ。1998年 東京藝術大学博士課程満期退学(油画専攻)。2000年「アニュアル展」アジア・アメリカン・アートセンター(ニューヨーク)。2011年「MOT アニュアル2011 Nearest Faraway | 世界の深さのほかり方」東京都現代美術館、など個展、グループ展多数。回顧2005美術4氏が選んだ美術展ベスト5にギャラリー21+葉(東京)での個展が選出される(読売新聞)。

## 福田尚代 FUKUDA Naoyo

1967年 浦和市生まれ。1990年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。1992年 東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修了。2010年「アーティスト・ファイル2010現代の作家達」国立新美術館(東京)。2013年には「本の梯子 - Book Ladder - 展」ギャラリーモーネンスコンピス(京都)、個展「慈雨 百合 粒子」小出由紀子事務所(東京)など個展、グループ展多数。

## 三宅砂織 MIYAKE Saori

1975年 岐阜県生まれ。1998年 京都市立芸術大学美術学部美術科卒業。1999年 英国ROYAL COLLEGE OF ART 交換留学。2000年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。2010年「VOCA展2010」でVOCA賞(グランプリ)を受賞。2012年「アブストラと12人の芸術家」大同倉庫(京都)2013年「Found」TRAUMARIS(東京)はじめて個展、グループ展多数。

[作品・表] 上から

福田尚代 《ランボー》2012年 穿孔された文庫本の頁

浜口陽三 《赤い鉢と黒いさくらんぼ》1968年 カラーメゾチント、紙 47.1x62.2cm

池内晶子 《Knotted Thread-Red》2009年 絹糸(参考図版) photo:橋本舞

三宅砂織 《Aの中の1と2》2012年 ゼラチンシルバープリント 83x216cm

(2枚並べた状態、左右それぞれは83x108cm)

[会期] 2013年5月18日(土) - 8月11日(日)

[入館料] 大人600円 大学・高校生400円 中学生以下無料

[休館日] 月曜日(7/15は開館)、7/16(火)、7/14(日)の15:00以降

[開館時間] 11:00~17:00(最終入館16:30 土日祝は10:00 開館)

※6/1(土)、6/8(土)、6/22(土)、7/28(日)、はイベント開催の為、1階会場が鑑賞しにくくなります。  
※休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。



## ミュージゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014  
東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7  
TEL 03-3665-0251  
FAX 03-3665-0257  
E-mail: musee@yamasa.com  
www.yamasa.com/musee/

[アクセス]

東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば  
東京メトロ日比谷線「人形町」A2出口 徒歩8分  
首都高速箱崎IC浜町出口又は清洲橋出口  
東京シティアターミナル駐車場前

